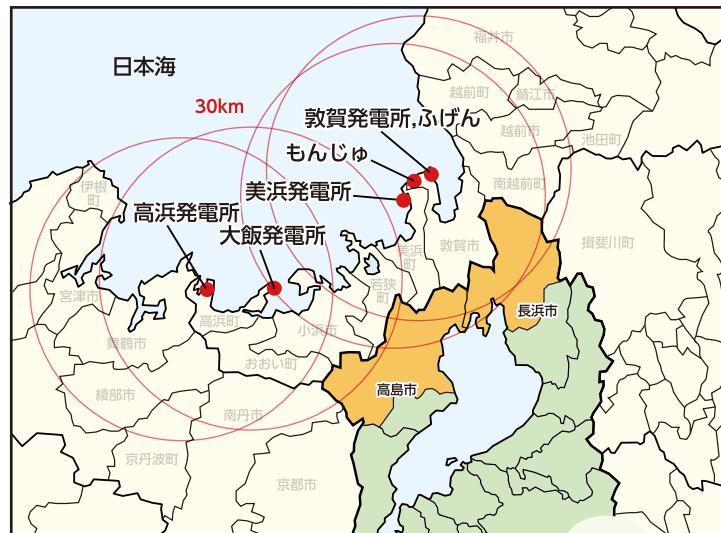


原子力災害って？

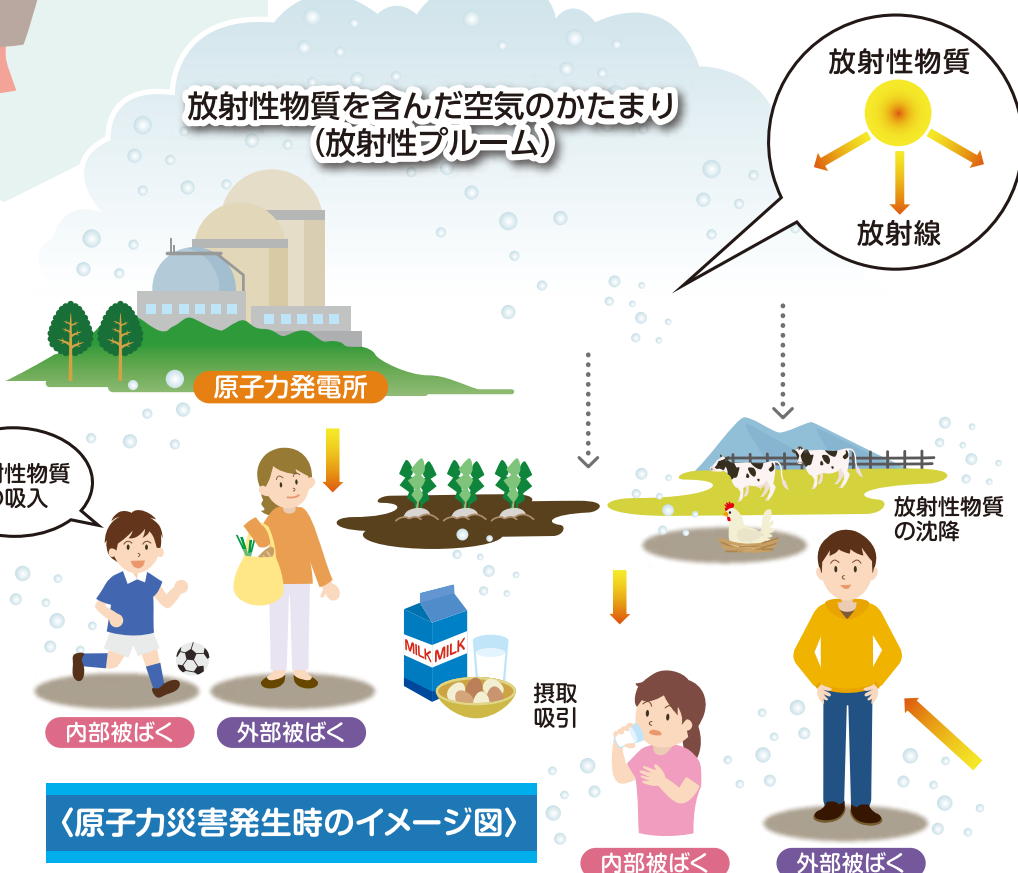
なぜ滋賀県で原子力災害対策が必要なの？

滋賀県に隣接する若狭地域には、6つの原子力発電所が設置されています。これらの発電所で万一事故が起きた場合、最大43kmの地域まで、原子力災害に備える必要があるため、県では、原子力災害対策を行っています。



原子力災害の特徴って？

原子力災害は、地震、風水害、火災などの他の災害とは異なり、放射線は、目に見えない、におわないため、どのように行動すればよいか自分で判断することが困難です。市からの情報に基づき、冷静に行動してください。



〈原子力災害発生時のイメージ図〉

災害時にはどうしたらいいの？

1 情報に注意

テレビやラジオ、長浜市からのお知らせに注意してください！



ここに注意 POINT
あわてず、まずは屋内退避しましょう！

2 屋内退避

建物の中に入ること、放射性物質が体内に入り込むことを減らす効果があります。また、建物の壁は、透過力の低い放射線を遮ることができるので、屋内退避が有効です。



3 一時移転または避難

放射性物質から離れるほど、放射線の影響は少なくなります。そのため、お住まいの地域の放射線量が高くなった場合は、一週間以内に一時移転または数時間以内に避難が必要となります。



日常生活の中の放射線

私たちの周りの土や石の中には、放射性物質があり、日常生活の中で少しずつ放射線を受けています。放射線は、体の細胞を傷つけますが、私たちの体にはその傷を修復する仕組みがあり、日常生活で受けるくらいの放射線量では健康被害が現れることはありません。また、放射線は医療の分野などでも活用されています。

“内部被ばく”と“外部被ばく”

放射線を体を受けることを放射線被ばくといいます。

